

第5回名勝洗足池公園保存活用連絡協議会 議事要旨

令和6年2月7日(木) 13:30~15:30

池上文化センター第一集会室

<当日資料>

- ①次第
- ②第4回協議会議事概要
- ③第4回協議会での指摘事項と対応方針
- ④資料-1 洗足池公園増設地整備内容について
- ⑤資料-2 名勝公園マネジメント計画について
- ⑥資料-3 水環境改善対策実施計画について
- ⑦資料-4 名勝洗足池公園の文化財活用事業について
- ⑧資料-5 景観構成重要木の伐採報告

発言者	審議内容(発言内容、審議経過、結論等)
-	--以下議事内容--
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事は4件、報告は1件である。 ・議題1、「洗足池公園増設地整備内容について」、事務局から説明願いたい。
事務局	(資料-1 洗足池公園増設地整備内容について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・増設地の整備内容に関して、今まで協議会で出た意見を踏まえて作成した最終版の説明を聞いていただいた。 ・最終版の事前の確認、承認については、前回の協議会で、委員長と副委員長に一任していただいたため、私と副委員長はすでに確認し、了承している。 ・実際の工事は令和6年の夏ごろから始まり、令和7年3月開園予定である。 ・本議題は今回で最後となるが、皆様からぜひ質問、意見をいただきたい。 ・資料-1、5枚目のイラストは、サクラの開花した様子や秋の紅葉が混ざっているが、樹木の大きさからすると、工事完了から何年後を想定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね5年後を想定したイラストである。 ・工事で新植、移植する樹木は、枝を切り詰めておく必要があり、イラストのように茂るまで5年程度は必要となる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的にも、公園に植栽した樹木が落ち着くまで5年程度要すると言われる。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料-1、1枚目の「蘆荻風露(ろてきふうろ)」の漢字について、説明の中に「萩(ススキに似た草本)」とあるが、ススキに似た草本となると荻だと思う。萩と荻どちらが正しいか確認してほしい。 ・資料-1、2枚目にある、既存擁壁付近の階段について、上の方から見ると、階段の内側に擁壁があり、降りていくと途中から外側に擁壁ができる構造となるように見えるが、実際この通りに施工できるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の漢字については確認する。 ・擁壁については、同じような形態で施工した例があり、その時も壁面に対して斜めに半分掘りこみ、半分は立ち上げた階段が完成した。 ・上部は擁壁を壊し、コンクリート等で留めて表面を石で仕上げる。下部は低いため、石積をすることで施工可能である。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては既存の擁壁に対する階段の平面上の角度を工夫するとよいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長からの指摘を受けて、内容の軽微な変更はあるかもしれないが、その場合も文化財関係の手続きなどを適正に進めたくて工事に入っていただきたい。 ・また、本協議会での報告、周辺住民等に向けた工事に関する情報の周知などは重要であるため、欠かさないようお願いしたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・整備内容の最終版に至った経緯を記録として残すことも大事である。 ・今のところ他に意見はないようであるため、2番目の議題、「名勝公園マネジメント計画について」、事務局から説明願いたい。
事務局	(資料-2 名勝公園マネジメント計画について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回から議題となっている内容で、今回は特にマネジメント計画全般についての話、さらには具体のゾーン分け案の提示があった。 ・これについて、何か些細なことでも発言いただけるとありがたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料-2、3枚目のゾーン別目標について、⑤桜広場ゾーンは「子どもが遊び、花見も楽しめる、名勝の賑わいを生む場」と記載されているが、高齢の方々もここを大変気に入って、ラジオ体操も盛んである。その点にも配慮した文章としていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘いただいた内容について検討する。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回ゾーン分けをする理由について尋ねたが、今回その説明があり、整理されたと思う。実際、例えばサクラの林、マツの林でそれぞれ考えるべきことは違うため、そうしたゾーン分けは必要である。 ・資料-2、3枚目にある11のゾーン分けも妥当だと思う。 ・それぞれのゾーンに分けただけなら、「普通の公園」と変わらないが、「名勝」である公園というのを考慮して工夫したのが、同じく3枚目右上の「遠景の目標」だと理解した。これにより、それぞれのゾーンがバラバラにならず、風景としての繋がりが保たれてよいと思う。 ・一方で、まだ半分しか考えられていないと思う。というのも、例えば①桜山ゾーンがあり、遠景ではα部分に含まれるとあるが、資料には池側から桜山を眺めることを考慮する観点で書いてある。池側というと⑥ボートハウス・中原街道沿いゾーンだと思うが、逆に桜山から池の方を見る風景もある。外側から見られることと、その場所から池など外側を見ることの両面を記載したほうが良い。 ・例えば⑥ボートハウス・中原街道沿いゾーンには特に記載がないが、視点場として洗足池公園の様々な景観を見る一番重要なポイントだと思う。その観点も加えると、ゾーンごとがバラバラにならず、風景としての繋がりに配慮できる。 ・例えば桜山は、「見られる」という点では、⑥の場所などから桜山を見た時、その全体の姿が美しく整うことを考えるが、逆に桜山から池側を「見る」という点では、サクラよりも眺めを遮る灌木や草本などの扱いを検討すべきとなり、考えることが異なってくるため、両方の観点が必要となる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘いただいた点は確かに足りない部分だと感じる。 ・「見る」と「見られる」両側の視点も踏まえた内容としていきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも意見をいただきたいが、つい先ほど資料が配布されてすぐ思いつくのは難しいと思う。閉会後に意見することも認めてほしいが、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は資料の事前配布ができなかったため、この場で思いつかなければ、閉会後であってもぜひ意見をいただきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長が述べたように、考え方が整理されてよかったと思う。 ・ゾーン分けについては、保存活用計画の資料編55ページの図に沿って整理したらどうかとの意見も前回あったが、今回は55ページの図を基本とし、もう少し詳細な点から名勝を意識したものになったと感じた。 ・副委員長が指摘した両側の視点に加えて、シークエンス景観、例えば植栽の連続する景観がゾーンで途切れないように、遠景、近景、シークエンスの三つをよく考えていただきたい。 ・植栽なら植栽の管理の仕方を定めておかないと、現場の指示や作業にも影響する。 ・そのためにもまずは、管理側がしっかり考え方を整理すべきである。
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・11のゾーンの中で意外に重要なのが、比較的文化的財色が薄い⑨水質浄化施設・休憩

	<p>所ゾーンのあたりや、隣接した⑩こども広場ゾーンだと思う。比較的文化的色は薄いですが、公園の中で広い面積を占めているため、全体として繋げるにはシークエンスの考え方が非常に重要だと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば文化的なストーリーで繋げるなどすると、公園として一体性が生まれる。 ・メンテナンスや施設整備の際も、何かそうしたアイコンのようなものを入れるのが重要ではないかと感じていた。 ・⑥ボートハウス・中原街道沿いゾーンも文化的色は薄いですが、公園の顔として重要なところであり、ここから見る洗足池は来園者にとってかなり印象深いものになる。列植された樹木も、スカイラインを整えて公園の中に繋げていくことが重要で、まさに繋がりをどう作るかということ、全体の計画と部分の計画を連動させることがポイントかと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局には引き続きお願いしたい。 ・次の議題、議題3「水環境改善対策実施計画について」、事務局から説明願う。
事務局	(資料-3 水環境改善対策実施計画について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この議題についても前回からの続きであるが、問題点、課題、目標の設定、今後の改善対策等々、説明があった。 ・質問、意見を頂きたいが、事務局の説明の中では、資料-3、2枚目にある「4. 洗足池における水質目標の設定」として「名勝の池として本質的価値を生み出す水質」が提示されている。具体的には、高い透明度、快適な水辺の景観、あるいは広い水面など。この目標が適切かどうか、あるいは必要な視点など、他の部分のことで構わないが、忌憚のない意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料中のグラフを見ると、洗足池の水質は都内の他の池と比べてそれほど悪くはなく、透明度も高いようだが、もう少し透明度が高くてもいいと思う。 ・特に池底のヘドロについては、かなり蓄積しているのではないかと。現状として、ヘドロの量が分かるデータがあれば教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘドロの堆積とその厚さについては、平成29年度に調査をした。詳しい数値は確認して、後日お伝えするというところでよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次回協議会の時でも構わない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の質問には、ヘドロを減らした方がいいのではないかとという意味も含まれると思う。その対策も含め、次回までに事務局の方で検討いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は水質の専門家ではないため、ヘドロの有無で水質がどの程度変わるのかは分からないが、やはりヘドロは取った方がいいと思う。 ・池全体のヘドロを回収するのが大変であれば、実験的に一部分だけヘドロを除去するなど、次回協議会に向けて何か検討いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘドロの浚渫（しゅんせつ）については、昔に東京都が実施した記録があるが、懸念点もある。ヘドロを取った分池の容量が増えると、水の入替わる時間が長くなることで、長期的には水質が悪化する可能性がある。 ・一般的に、自然状態の淡水池は有機物が絶えず流れ込み、底に堆積して最後には陸化する。洗足池の場合は陸化の進行を止めなければならないが、まだそれほど浅くなっていない。 ・費用面や水質悪化の恐れも考えると、現時点で浚渫は必要ないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の流入水量が少ないという問題もある。 ・流入水量を増やすことについてはどうか。物理的に難しい部分もあるかもしれないが、流入水量が増えることで、池の水も早く入れ替わると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・流入水量を増やすには、どこかから水を持ってこなければならない。 ・井の頭公園など井戸を持っているところでは、毎日何百トンも汲み上げることで、池の水の入れ替わりも早くなるため、水質は良くなると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、井戸からの取水量は条例で制限されていて、深さ400mより浅い井戸は1日10トンしか水を取れないため、洗足池のスケールからすると微々たる量である。 ・400mより深い井戸を掘ればいいのかというと、深くなるほど有機物が溶け込んで、水にも色がついていたり温度が高くなったりと、逆に洗足池に対して悪影響となる可能性もある。 ・実際に、現在洗足池に流れ込んでいる清水窪湧水も、全窒素濃度については洗足池全体より高い。つまり、綺麗に見える湧水、地下水も、植物プランクトンの餌となる成分を多量に含んでいる可能性がある。 ・そのため、もし実際に井戸を掘るのであれば、許容できる水質であることを確認出来てからでなければ難しい。 ・外部からの水の導入については以上のように考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・やや理解が難しい部分もあるが、池の水の滞留時間が長くなるほど、有機物の堆積も増えるように思う。 ・地下水の水質がよくないのであれば、どこから水を持ってくるのがいいか考え、名勝として活かすことを考えていただきたい。 ・せっかく何か計画や整備をするのであれば、後々またやり直しが必要とならないように、熟考していただいた方がいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、水環境の改善において、対策ごとの効果をシミュレーションしている。 ・次回の協議会では具体的な提案ができる見通しであるため、その際も意見をお願いしたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料-3の3枚目に、「7. 検討を進めている水質改善対策」として、4つの方法が整理されているが、この4つをシミュレーションするということがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員からの指摘も踏まえて、短期的にも長期的にも、最適な方法を検討していただきたい。おそらく単体の対策では解決できないため、複数の方法を組み合わせた形が良いのではないかと思います。 ・前回、雨水をもう少し使えないかという話があったが、それも導入するのが難しくれば、安定的な流入水の確保について、慎重に検討いただきたい。 ・増設地の井戸が使えず残念だが、もし機能すれば少しは水量を確保できたと思う。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・水質目標について、資料-3の2枚目の左上に赤字で「名勝の池として本質的価値を生み出す水質」とあるが、本質的価値は現に認められているものであるため、「本質的価値を支える」や「維持する」などの表現が適切かと思った。 ・また具体的な内容として、透明度は理解できるが、「快適な水辺景観」というのは抽象的である。具体的な水質の目標ということであれば、やはり透明度のような指標、名勝の池にふさわしい水質の指標の設定が必要だと思う。 ・今後シミュレーションをする際も、設定した指標に対してどのような状態が見込まれるかを整理すると、理解しやすくなると思う。 ・4つの対策については次回以降の話だと思うが、各対策のメリットに水質、生態系、コストなどいろいろな内容が混ざっていて、視点が揃っていないため、整理したほうがよい。そのうえで、この中のどれか1つを選ぶということではなく、この組み合わせをどうするかという話だと思うが、検討することができると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・池の水面に映る名勝としての景観というのも重要であり、大切にしたいため、それは先ほどのマネジメント計画にも反映していただきたい。 ・この議題3についても次回、具体的な話に進むということである。 ・それでは、次の議題4「名勝洗足池公園の文化財活用事業について」事務局より説明いただきたい。
事務局	(資料-4 名勝洗足池公園の文化財活用事業について 説明)

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・旅する文化財シリーズは校正中とのことだが、コースの総延長を記載した方がいいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・総延長 (km) も記載したいと思う。 ・また、旅する文化財シリーズの他にも、文化財寄稿集の内容、マップ類も増やしており、この機会に区内他部署との連携、地元の皆様との連携も図りたい。 ・まち歩きのような取り組みにも使用していきたいと考えているため、その際はまたこの場でも報告したいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アピールの場として何かアイデアがあればと思う。 ・令和7年3月に増設地が完成、オープンする頃は、ちょうどサクラの時期でもあり、そうした機会を利用してアピールしたらどうか。 ・増設地があまり広くないため、来園者が急増すると環境容量的には厳しいかもしれないが、何かタイアップしてオープン記念のイベントのようなことができれば、アピールの場にもなる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・園内には樹名板が少ないと思う。 ・すでに設置してある樹名板はわかりやすくいいのだが、池月橋付近のメタセコイアの樹名板は遠くて見えにくいので、できれば複数箇所の見やすい位置にメタセコイアの説明板を設置してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・樹名板も最近は様々な工夫をしたものが見受けられる。 ・ご指摘の箇所についても検討していきたい。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・旅する文化財シリーズ池上本門寺編のマップについて、池上の「池」の字は洗足池が由来だと思うが、それも含め地名の紹介があると良いのではないかと思った。 ・特に文化財を紹介するものであるから、例えば本門寺の五重塔は重要文化財であることなども紹介したらどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り情報を追加したいと思う。 ・完成後、また皆様にお見せしたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に報告事項、「景観構成重要木の伐採報告」について、事務局から説明願いたい。
事務局	(資料-5 景観構成重要木の伐採報告 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・報告内容について特に質問等はないと見られるが、本日全体の内容について何か感想をいただけるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・洗足池の水質については、あまりよくないというイメージだったが、都内の他の池と比べてもそれほど悪くないというのは意外な印象を受けた。 ・本日の議題も保存活用計画に基づいて設定されたと思うが、協議する中で勉強ができた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・増設地の整備内容については、委員の皆様から様々な意見、アドバイスをいただくことができ、こうしてまとまったことは大変ありがたい。完成についても楽しみにしていただきたい。 ・洗足池の水質については区も試行錯誤してきたが、やはり流入水量確保の検討、対策が必要だと思う。 ・その他にもまだまだ調査、検証の必要があり、ヘドロの話も出たことから、よく調べた上で、この場で情報共有したい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・では最後に、事務局から連絡事項をお伝え願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の本協議会は、本日の第5回目までとなる。 ・次回第6回協議会の開催は来年度に予定しているが、委員の皆様にはまた改めてご連絡する。 ・以上をもって第5回名勝洗足池公園保存活用連絡協議会を終了する。

以上